

- PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ベツルは製品の使用期間を通し、12ヵ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
- PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。点検に関する資料はベツルのウェブサイトPETZL.COM からダウンロードできます。

## ヘルメット



### 1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められるPPEは、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります：

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPEに対して生じた特殊な状況を記録する

(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

### 2. 予備的観察

個別番号とCEマークが付いていることおよび判読できることを確認してください。  
備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00 000 AA 0000

製造年  
製造日  
検査担当  
識別番号

コード B:

00 A 0000000 000

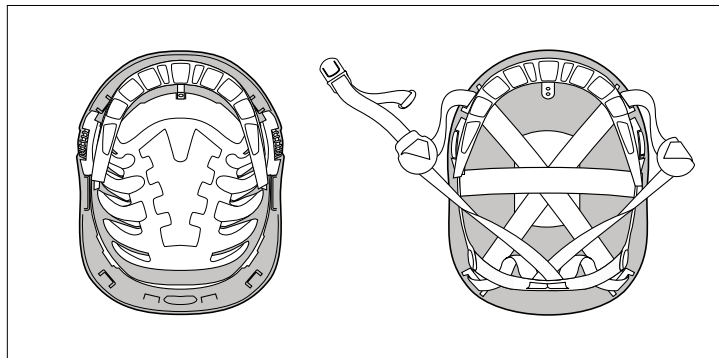
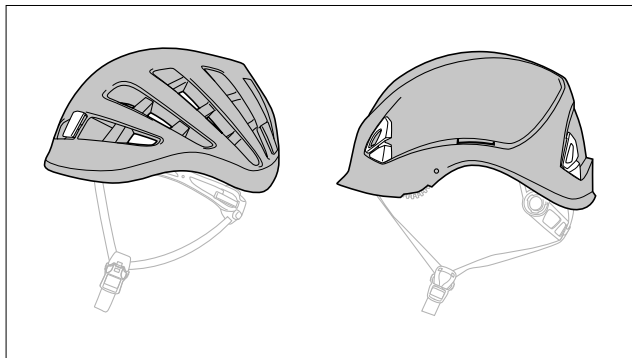
製造年  
製造月  
ロット番号  
識別番号

耐用年数を超えていないことを確認してください。  
新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

### 3. シェルの点検

• シェルの外側の状態を確認してください (傷、衝撃、変形、ひび、熱による損傷、摩耗、化学薬品との接触の痕跡等)。

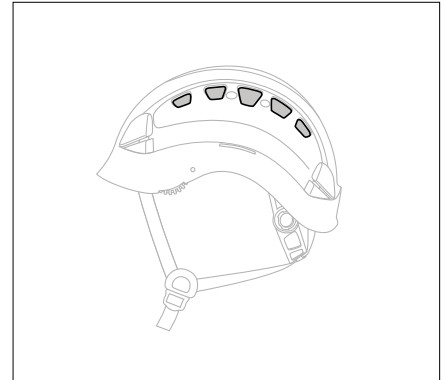
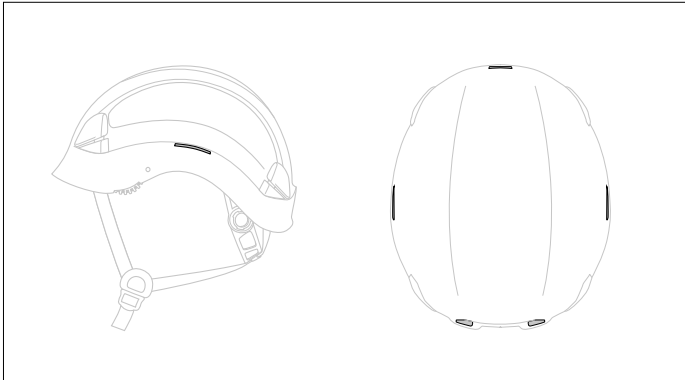
• シェルの内側の状態を確認してください (傷、変形、ひび、部品の欠損等)。警告: シェルに取り付けられているライナーは外さないでください。



• 注意: ヘルメットを区別したりマーキングしたりするのに化学製品を使わないでください。マーキングには水性接着剤を使用してください。

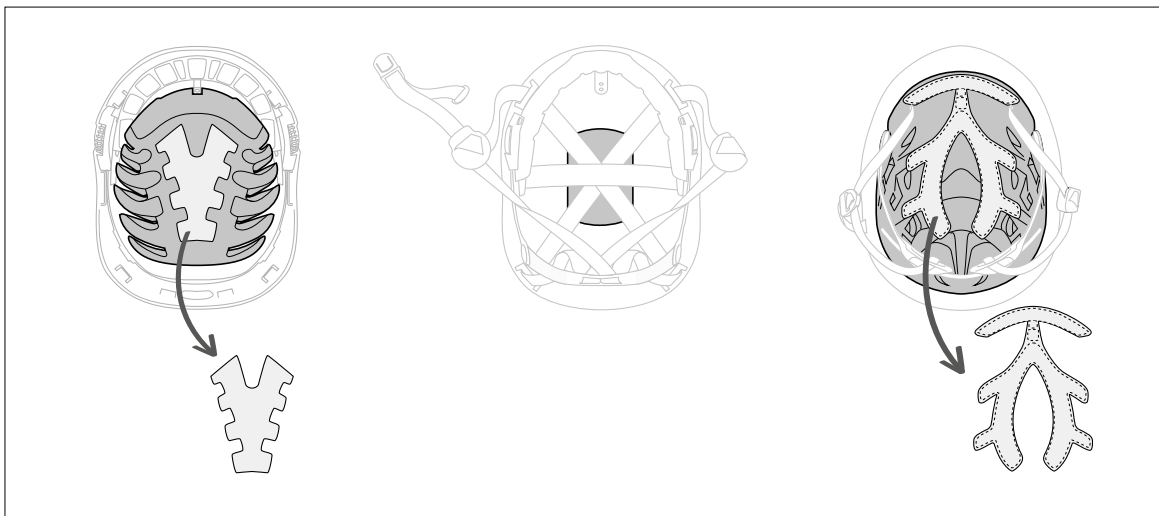
• アクセサリー取付用スロットおよびホールの状態を確認してください(変形、ひび割れ等)。

• 通気孔用スライド式カバーの状態と機能を確認してください(『バーテックスベント』『エリオス』等)。



#### 4. ライナーの点検

• ライナーの状態を確認してください(傷、変形、ひび、パーツの欠損等)。快適性に関わるパーツを取り外して隠れた箇所を点検してください。  
警告: シェルに取り付けられているライナーは外さないでください。



注意: ヘルメットのモデルによっては、シェルとライナーが以下のようになっている場合があります:

シロッコ



1つのパーツ

メテオ



2つのパーツを接着

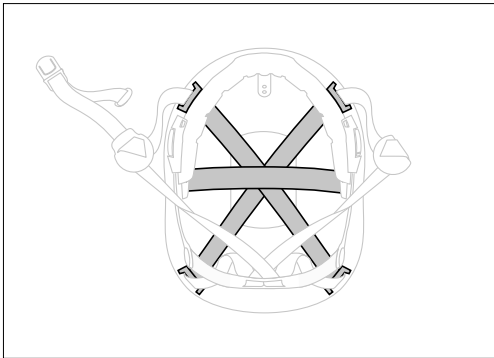
バーテックス、アルベオ等



2つのパーツを組み合わせ

## 5. ハンモック (頭部を覆うウェビング) の点検

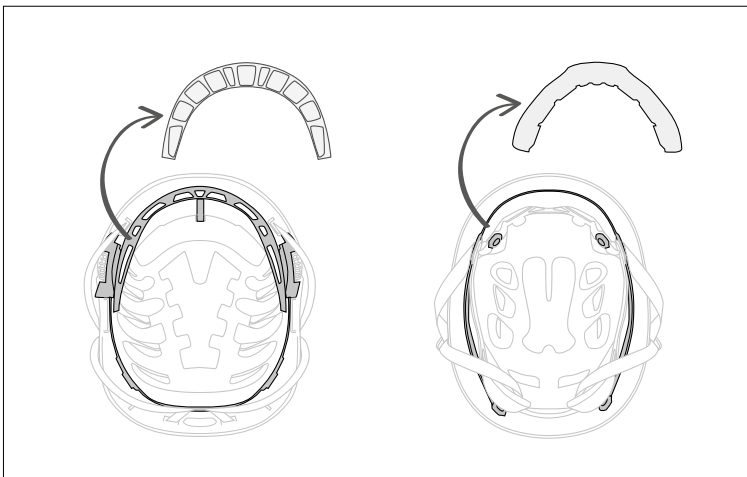
- ストラップおよびシェルに接続されている箇所の状態を確認してください (摩耗、切れ目、熱による損傷、プラスチックパーツの変形等)。



注意: ライナー付きのヘルメットのほとんどには頭部を覆うウェビングがありません。

## 6. ヘッドバンドの点検

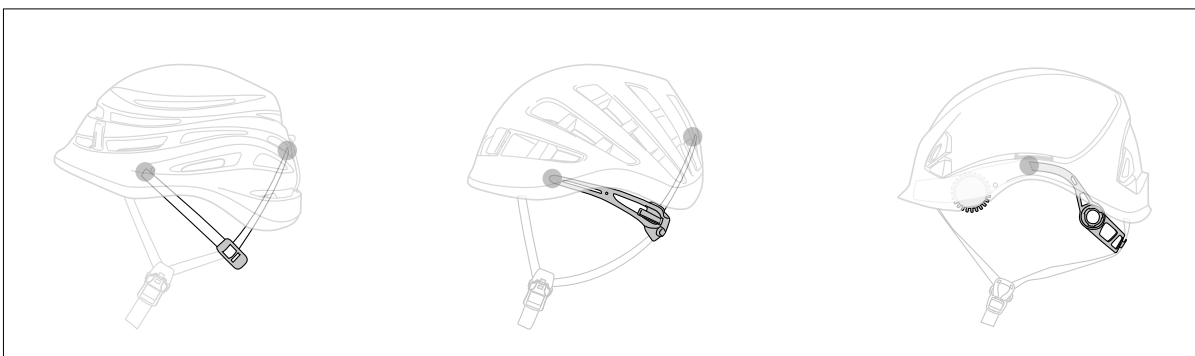
- ヘッドバンドおよびシェルに接続されている箇所の状態を確認してください (摩耗、変形、パーツの欠損等)。  
必要に応じて、フォームや快適性に関わるパーツを取り外して隠れた箇所を点検してください



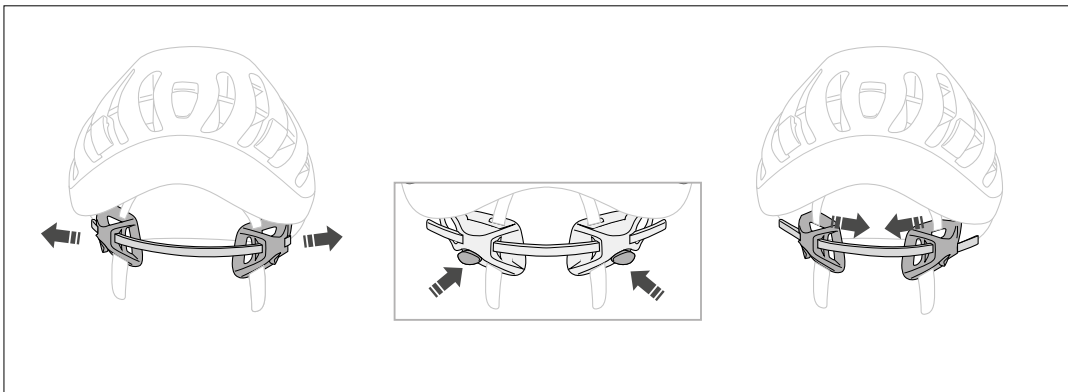
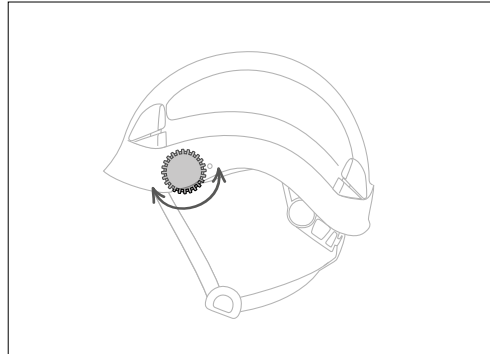
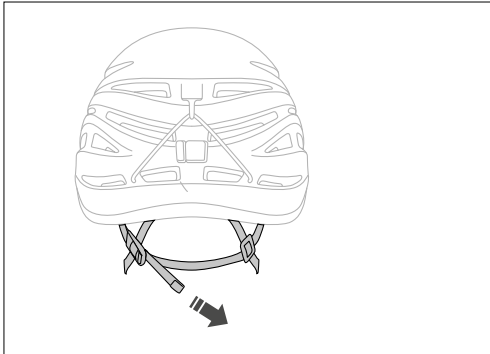
注意: 『メテオ』 『シロッコ』 など特定のヘルメットにはヘッドバンドがありません

## 7. 調節システムの点検

- 調整システムおよびシェルに接続されている箇所の状態を確認してください (摩耗、変形、パーツの欠損等)



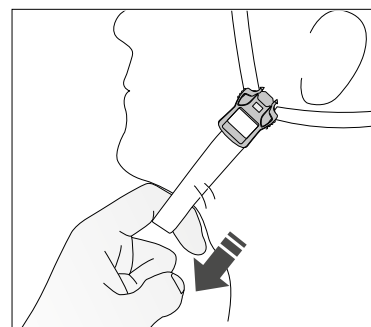
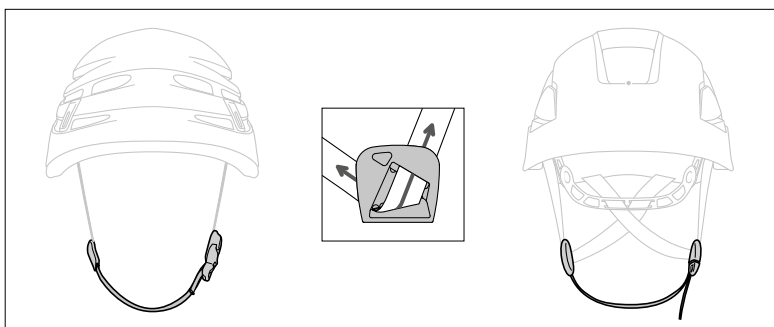
- 調節システムの機能を確認してください  
調整システムを両方向に操作してください。ヘッドバンドを引っ張って、調整された状態から弛まないことを確認してください



## 8. あご紐の点検

- あご紐と調節パーツの状態を確認してください(摩耗、切れ目、熱による損傷、プラスチックパーツの変形等)。リテーナーおよびプラスチックパーツを動かして、ストラップの隠れた箇所を点検してください

- あご紐のバックルの状態を確認してください(摩耗、変形、破損等)。あご紐を軽い力で引っ張って、確実に固定されることを確認してください。



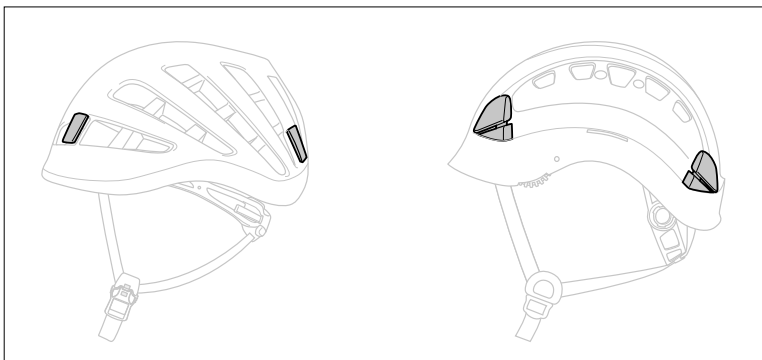
## 9. 快適性に関わるパーツの点検

- 快適性に関わるパーツの状態を確認してください。必要に応じて、パーツを取り外して洗浄または交換してください。



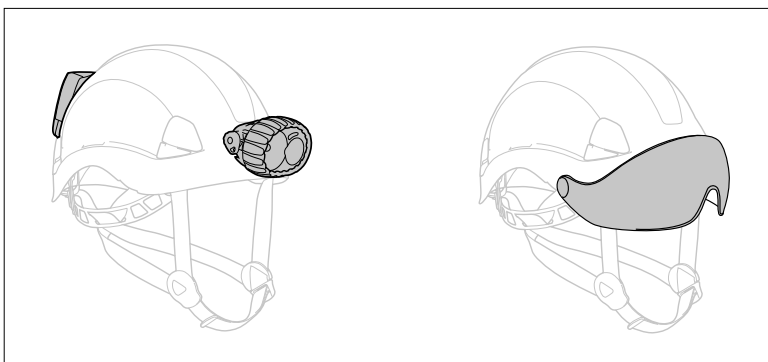
## 10. ヘッドランプクリップの点検

- ヘッドランプクリップの状態を確認してください (傷、変形、部品の欠損など)。



## 11. アクセサリーの点検

- ヘルメットにアクセサリーが取り付けられている場合は、その状態および適切に機能することを確認してください (シールド、ヘッドランプ等)



補足情報 1.過度に摩耗するなどして廃棄が必要なヘルメットの例

• バックルの破損



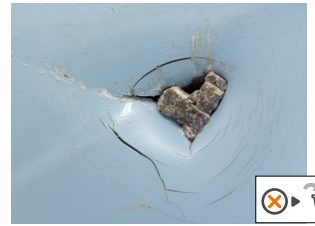
• バックルの破損



• バックルの破損



• 衝撃荷重を受けたシェル



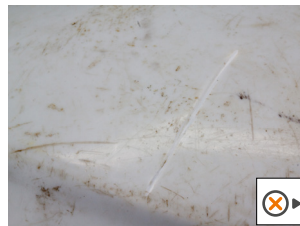
• 化学製品が貼付されたシェル



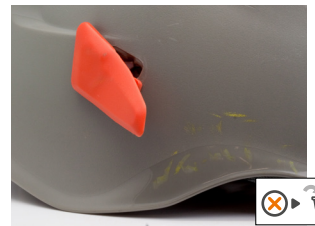
• 化学製品が貼付されたシェル



• シェルの深いキズ



• シェルの傷とクリップの破損



• ライナーのひび



• ライナーのひび



• ライナーのひび



• ライナーの傷と変形



• シェルのひび



• シェルのひび



• シェルのひび



• 調節システムの破損



• シェルの変形



• シェルの変形



• シェルの変形



• 衝撃荷重を受けたシェル



• 快適性に関わるフォームの過度な摩耗



• 快適性に関わるパーツの裂け

